



2017.4.5

No. 279

MONTHLY

れんごう



<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者 杉山 元

T060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろうビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

2017春季生活闘争勝利! 3.9全道総決起集会を開催!

連合北海道は3月9日、札幌わくわくホリデーホールにおいて2017春季生活闘争ヤマ場の闘いに向けて全道総決起集会を連合石狩地協、札幌地区連合との共催で開催。1,550名の組合員等が参加し、取り組み方針と闘う意思を全体で確認した。

挨拶で連合北海道の出村会長は、経済の自律的成長、持続可能な社会を作っていくためには、月例給にこだわった賃金改善と大手と中小及び非正規労働者の格差改善が必要。昨年以上の結果を求めて皆で頑張ろうと訴えるとともに、長時間労働の上限規制と同一労働同一賃金の実現についても前進させなければならないと呼びかけた。さらに宅

配便問題に触れ、本格的な人口減少社会のなかでサービス提供のあり方など、これまでの社会常識を議論し変えていくのも連合の役割と強調した。また、解雇撤回の闘いを進めているベルコ労組に対する支援に感謝するとともに、このような違法な働き方を一掃する取り組みも重要であり、5月以降、働き方改革の推進のために全道キャラバンなど連合北海道としても取り組んでいくと決意を述べた。

最後に、時期は読み切れないとしつつ、立憲主義・民主主義を取り戻すために安倍政治の転換と一強他弱ではなく緊張感のある政治体制を実現することが不可欠とし、総選挙に向けた協力を要請した。

続いて杉山事務局長が方針提起を行い、今次闘争の基本は道内で働く98万人の中小企業労働者と91万人の非正規雇用で働く仲間など、すべての働く者の処遇を「底上げ」することであり、月例賃金、賃金水準にこだわって精力的に交渉を進めよう、さらに、その成果を広く社会に波及させようと提起した。また、「長時間労働の是正・過労死ゼロの実現」のために「労働時間の量的上限規制」と「インターバル規制」の法制化が必要と訴えた。加えて、道内で786円の最



出村会長



杉山事務局長



フード連合
関谷事務局長



運輸労連
森下書記長



渡島地協
八木橋事務局長

低賃金で生活している29万人の非正規労働者の処遇改善のためにパート時給1,000円への引き上げと均等待遇への改善を図ることなど、3月15日の山場以降、地場中小の4月過ぎまで続く長い闘いに向けた総結集を強く訴えた。

決意表明では、フード連合の関谷事務局長はサプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正な分配実現を図るために、今年も公正取引実現に向けた要請行動を行うとともに「個別賃金・絶対額」にこだわった取り組みを行うこと、運輸労連の森下書記長は、「90年の規制緩和により不毛な過当競争が起き長時間労働・低賃金化によってドライバーの高齢化と人手不足が進んでいる。運輸産業は生活・経済を支えるインフラであり、適正運賃・料金の下で労働者の適正な処遇が実現するよう取り組むことが表明された。渡島地協の八木橋事務局長からは、1千名を超える渡島地域ユニオンの様々な職種の労組の取り組みについて紹介された後、参加者の団結ガンバローで集会を終えた。

<この記事のアドレス>

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=2767>

格差是正と働き方改革の実現を!

全道各地で街宣行動展開、春闘支援を訴える

連合北海道は全道各地で街宣行動を展開、月例給にこだわる「底上げ・底支え」、長時間労働の是正とワークライフバランスの確立を求める春季生活闘争への支援を道民に訴えた。

3月17日早朝、JR札幌駅前で行われた街頭演説に立った連合北海道の出村会長は、今次春季生活闘争の重点について、3つの格差是正と4%、10,500円、時給37円以上アップを求める「底上げ春闘」であり、道内は中小企業に働く労働者も多く、その成果をすべての働く仲間に広げていくことが求められていると強調し、要求から交渉、妥結まで頑張っている中小企業労組が増えており、市民の皆様の支援をお願いすると訴えた。

また、「働き方改革」に触れ、現在事実上の青天井となっている時間外労働の上限規制について、罰則付の上限規制導入は意義あるものとしつつ、職場段階で安心して働くことのできる環境を作ることが重要で、長時間労働をなくし仕事と生活が両立できる社会をめざそうと呼びかけた。

3月15日は札幌駅西口の紀伊國書店前で連合石狩地協と合同で街宣活動を実施。連合北海道の杉山事務局長は、大企業と中小企業、男女間、正規と非正規労働者の3つの格差を是正し、デフレからの脱却、経済の自律的成長をめざそうと市民に訴えた。

長時間労働是正、同一労働同一賃金等の働き方改革について、今後示される実行計画や労政審でしっかり要求、議論していく、高プロや裁量労働制の緩和にはあくまで反対していくと述べるとともに、実現には政治の力も必要として民進党議員への支援も訴えた。



出村会長



石狩地協 太田会長



続いて石狩地協の太田会長は、日本の労働時間が2000時間を超えと世界的に見ても高止まりしており毎年過労自殺等で約200人が犠牲になっていると指摘し、事実上無制限となっている労働時間の罰則つき上限規制が重要で、繁忙期時間が議論されているがあくまで原則に近づける努力が必要、インターバル規制など働く者の視点に立って働きやすい社会を作ろうと訴えた。

〈この記事のアドレス〉

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=2780>



■上川地協

2017春季生活闘争の最大のヤマ場を迎える中、連合上川地協は、春闘・クラシノソコアゲ街宣行動第1弾として、3月10日の旭川市1条買物公園をスタートに、13日・旭川市役所前、14日・コープさっぽろ富良野店前、15日・西條名寄店前、16日・北星信金士別営業部前、17日は再び旭川市1条買物公園と、街頭演説・チラシ配布(1800枚)を展開した。地域にこそ賃上げが必要であること、長時間労働の是正へ労使が真剣に取り組むことなど、格差是正とクラシノソコアゲへの喚起へ、訴えを続けてきた。街頭行動には交渉の大詰

めを迎えながらも、産別・単組・地区連合会から多数の組合員に参加いただき、「北口雄幸」北海道議会議員には、名寄・士別・旭川と行動をともにいただいた。



■渡島地協

渡島地協は3月18日、函館市本町交差点周辺で街宣行動を実施、30名を超える組合員の他、推薦道議・市議も参加した。当日は、テープ街宣を行っていた北斗地区連合も合流し、月例賃金引き上げに加え長時間労働の是正を市民に訴えた。



2017春季生活闘争 3.8国際女性デー 全国統一行動北海道集会を開催

3.8国際女性デーは、1857年3月8日にニューヨークの被服工場働く女性が低賃金・長時間労働に対する抗議行動を行ったことが起源となっている。連合は1996年から春季生活闘争の中に国際女性デーの活動を位置づけ、全国で統一行動を実施している。連合北海道では3月4日13時から北海道自治労会館において集会を開催し、14産別2地区から136名の参加があった。

また、国際女性デーは賃金・労働条件の向上を表す「パン」と、女性の尊厳、人権の確保を表す「バラ」をシンボルとしていることから、参加者にバラをイメージしたプレゼントも配布された。

集会のはじめに、連合北海道女性委員会の山田委員長から挨拶があり、「過労死やサービス残業が大きく報道されている。春闘では賃金だけでなく労働条件の見直しもすすめてほしい」と述べた。

続いて、自治労北海道本部の三浦和枝書記長から「男女平等社会に向けて～つながろう。つなげよう。～」というテーマで講演があった。三浦書記長は「公務員なら女性が結婚しても続けられると思いだんに就職したが、配属先の留萌支庁は女性が少なく、中でも正規職員の女性は少なかった。当時は女性のお茶くみもあった。結婚や出産で女性が仕事を辞めていくという現実があって、こういう状況を変えていきたいと思ったのが組合活動にかかわるきっかけだった」「『結婚しても出産しても、年をとっても働き続けられる職場をつくらう』という組合のスローガンに共感して、活動をしてきた」「組合運動は上からおろすのではなく職



場からつくるもの。運動が途切れないようにすることが大事」と、組合活動をつなげていくことの重要性を訴えた。

また、組合での男女平等参画に関しては「女性役員を増やすためには女性枠をつくるなどクォータ制などを取り入れる必要もある。役員をサポートとして、悩みを聞いてくれる仲間や、家族の理解や協力も必要」と述べ、若い組合員へ「自治労の活動には研究や国際貢献などさまざまな分野がある。自分の興味のあることを、できることからやってみてほしい」とメッセージを送った。

集会後半は産別報告として、自治労南富良野町職員の川邊由美組合員から、自然災害時における自治体職員の勤務状況について報告を受けた。2016年8月30日からの台風被害では、大雨や河川の水位上昇など刻一刻と高まる危険に对应対策本部が設置され、役場職員が戸別訪問して住

民に避難を呼びかけた。町職員は自らも被災しながら、状況把握やマスコミの対応に追われ、天候が落ち着いた後も災害対応があり、同時に通常業務もこなさなければならぬという過酷な状況にあったことが報告された。

講演や産別報告を受け、連合北海道の齊藤勉副事務局長から「やめない職場をつくることも組合の役割である。1月に育児介護休業法が改正された。また、非正規雇用の処遇改善についても、連合は引き続きとりくみとPRを続けていく」と集会を総括した。最後に「社会のあらゆる分野、とりわけ職場、労働組合における男女平等参画」を実現し、「働くことを軸とする安心社会」をめざすという集会アピールを採択した。

〈この記事のアドレス〉
<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=2764>



職場で役立つ法律知識を身につけよう!

ワークルール検定 2017春

ワークルール検定は、働くときに必要な法律や決まりを身につけられる検定制度です。いま、職場の環境が変わり、働き方も多様になって、身近なところでいろいろな問題が起こっていますが、ワークルールを知っていれば問題を未然に防止できたり、解決できたりすることがあります。働く人にとっては、知識を身につけることによって自分や仲間を守ることができます。会社にとっては、コンプライアンスの推進や人材の確保に役立ちます。誰もが安心して働ける職場を作るために、この検定制度を生かしてください。

検定日 2017年6月11日(日)

時間 初級/10:00~12:00
中級/14:00~15:20

URL <http://workrule-kentei.jp/>



2017年6月11日(日) 3月13日(月)~5月13日(土) AM10:00~12:00 PM14:00~15:20

ワークルール検定 2017春

自分や仲間を守る。会社を守る。コンプライアンスを学ぶ。

ワークルール検定

詳しくは、ワークルール検定協会公式サイトまで <http://workrule-kentei.jp/>



4月の主な動き

イベントカレンダー

- 第2回メーデー実行委員会
5日(水) 13:30/ポールスター札幌
- 第2回組財小委員会
6日(木) 15:30/連合北海道会議室
- 公正取引委員会への要請行動
10日(月) 10:30/第3合同庁舎
- 北海道経済産業局への要請行動
10日(月) 14:00/第1合同庁舎

- 第38回組織財政特別委員会
11日(火) 16:00/ポールスター札幌
- 第1回最賃対策委員会
12日(水) 15:00/連合北海道会議室
- 中央執行委員会
13日(木) 13:30/連合会館
- 第3回中小パート共闘会議
18日(火) 15:00/連合北海道会議室

- 第7回執行委員会
19日(水) 10:15/連合北海道会議室
- 第1回役員推薦委員会
19日(水) 12:10/連合北海道会議室
- 第6回地協事務局長会議
19日(水) 13:30/連合北海道会議室
- 春闘石狩地区地協総決起集会
27日(木) 18:30/エルプラザ